

# おれんじの屋根

施設長より

「しょうぶの里は満20年を迎えました。」

熊本市手をつなぐ育成会が立ち上げた障害者支援施設しょうぶの里は、令和3年4月に開設満20年を迎えることができました。これもひとえに、保護者・ご家族、行政並びに関係機関、関係者の方々、地域の皆さま、旧職員の皆さんなどからの温かいご支援ご協力の賜と感謝しております。満20年を迎えたしょうぶの里を引き継ぐ者の一人として、心より御礼申し上げます。

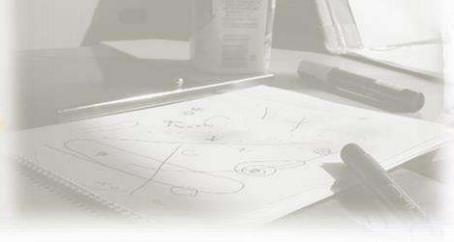
本来ならば、多くの方々と共に20周年をお祝いしたいところですが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大により、式典等の開催は断念をせざるを得ませんでしたので、例年12月に実施しています「クリスマス&忘年会」の冒頭に式典を行いました。

今年の「クリスマス&忘年会」も、昨年同様、新型コロナウイルス感染防止のため、基本は利用者さんと職員だけでしたが、20周年のお祝いということで、西会長代理の堅島副会長様、川村前会長様、そして、入所・通所の家族会の両会長様にご出席をいただき、いつも行っている市内中心部のホテルのビュッフェを貸し切って行いました。

しょうぶの里の原点は、育成会会員をはじめとする多くの関係者の方々の長年にわたる熱い願いやご努力、期待をもとにできた施設であるという点です。「水を飲むとき、井戸を掘った人のことを忘れてはならない」という中国のことわざがありますが、開設に至るまでと開設当時の関係者の方々の大変なご苦勞とご努力、しょうぶの里への熱い思いを大切に継承し、利用者さん、親御さん・ご家族の気持ちを大事にしながら、共に歩んでまいりたいと思っております。

20年の歳月を重ね、開設当時にはあまり話題となっていなかった高齢化や老化といったことが、徐々に、しかし、確実に課題となってきてはいますが、利用者さんが、しょうぶの里で毎日の生活を楽しみ、生き生きと豊かに過ごすことができるよう、職員一同、精いっぱい努力をしまいたいと思っております。

関係の皆さま方のますますのご繁栄を祈念申し上げますとともに、今後ともしょうぶの里への温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 書き遊ぶ

### 「ウイルスの侵略」

ゆうゆう会会長の瀬上です。大変な年でしたが、来年こそ良い年になりますよう願っています。

2009年、退職後初めての海外旅行ウキウキして成田のホテルに泊まりましたが、憧れのパリに行けるとなかなか寝付けませんでした。

さて、翌朝元氣いっばいにホテルの玄関を出たのですが、何ということでしょう。目の前に20数台にカメラと記者たちがずらりと並んでいるではありませんか。えっ！何だ！もうびっくりです。でも皆さん私を見てもシレ～としていたので自分とは関係ないと安心しました。実は夜中にこっそりと、外国で新型インフルエンザに感染した修学旅行の高校生たちがホテルに隔離されていたのです。これは騒がれた割には死者が少なく帰国時には何の検査もありませんでした。

1918年からスペインで大流行した「スペイン風邪」インフルエンザは世界的流行（パンデミック）と呼ばれました。第一波はアメリカからヨーロッパに米軍兵士が運びました。第二波は夏、第三波は冬に猛威を振るい、日本で39万人、全世界で2500万人の命が奪われたのです。

そして今、新型コロナウイルスにより全世界で500万の人が亡くなっています。1346年、ウイルスではありませんがペスト菌により流行した黒死病で欧州人口の3分の1が死亡して人手不足となり社会に大変化を引き起こしました。今、私たちは後世に残る歴史的大事件に遭遇している・・・みたいです。



# しょうぶの里 開設20周年記念式典 with クリスマス&忘年会

平成13年に開設して、早いもので20周年を迎えました。

本来ならばお世話になった方々をお招きして20周年をお祝いするところですが、まだまだ収まらぬ新型コロナウイルスの影響で利用者さん、職員、来賓として入所・通所それぞれの家族会会長、市育成会前会長・副会長をお迎えしての式典となりました。

来賓の方々からお祝いのお言葉をいただいた後、勤続10年～18年の職員の表彰状授与が行われました。今回は10名の職員が表彰されました。

川村前会長



瀬上ゆうゆう会会長



聖島副会長



岩永あおば会会長



20周年式典に続き、毎年恒例の《クリスマス&忘年会》がスタートです。こちらも昨年は施設内での開催となりましたが、今年は2年ぶりにホテル日航さんでのクリスマス&忘年会となりました。20周年記念のDVDを観ながら、バイキング形式の食事で、皆さん各々好物のメニューを思う存分食されていました。来年はご家族の皆さんと一緒に楽しむことができればいいなと思いました。

Merry Christmas!



## 給食室より

### 1月 イベントメニュー

- 1月 7日 七草混ぜご飯
- 1月 11日 白玉ぜんざい(鏡開き)
- 1月 12日 誕生会  
ケーキ コーヒーor紅茶
- 1月 19日 リクエストメニュー(昼食)
- 1月 28日 リクエストメニュー(昼食)

## 春の七草がゆ

七草(七種)の「かゆ」を食べて祝う行事は古くから行われていました。奈良時代には、「かゆ」を食べることは年中無病のまじないとされ、セリ(芹)・ナズナ(薺)・ゴギョウ(御形)・ハコケラ(繁縷)・ホトケノザ(仏座)・スズナ(菘)・スズシロ(蘿蔔)の七種の菜を用いたようです。おせち料理などで疲れた胃腸にも優しい七草がゆ。皆さんもぜひ食べてください。

来年の健やかな一年となりますようにお祈りいたします。

栄養士 齋藤憲子

## 医務室より

### 一酸化炭素中毒について

12月17日 大阪市北区の雑居ビルで火災がありました。24名の尊い命が奪われました。亡くなられた方々の大半は自立した外傷はなく一酸化炭素中毒が死因だったそうです。一酸化炭素(CO)は無色無臭の人体に有毒な気体です。

#### 《一酸化炭素の性質と危険性について》

- 水に溶けにくく、アルカリ性水溶液やエタノールに溶ける可燃性の気体である。
- 火災、爆発、事故及び湯沸かし器、糠炭等の不完全燃焼時に発生する。
- ヘモグロビンの親和性は酸素の約200倍と言われており、肺に取り込まれた空気に一酸化炭素が含まれていた場合、ヘモグロビンの多くが一酸化炭素と結合し、酸素を取り込めない状態になる。その結果、体内に酸素が行き廻らない状態となり、いわゆる内部窒息と呼ばれる状態となり、死に至ることもある。

#### 《一酸化炭素中毒の症状として》

- 軽度・・・頭痛、吐き気、めまい、集中力低下、眠気  
ほとんどの場合、新鮮な空気を吸うことで回復する。
- 中度・・・判断力の低下、錯乱、意識消失、けいれん発作  
胸痛、息切れ、低血圧、昏睡  
自力で動くことができず救助が必要となる。
- 重度・・・多くの場合死に至る。まれに回復しても記憶障害  
協調運動障害、抑うつ、精神病(遷延性の精神神経症状)が現れることがある。

看護師 齋藤

## 《1月の行事予定》

- ☆ 4日(火) 仕事始め 訪問リハビリ
- ☆ 6日(木) 訪問歯科
- ☆ 11日(火) 職員会議 給食委員会
- ☆ 12日(水) 誕生会
- ☆ 13日(木) 初詣 訪問歯科
- ☆ 17日(月) 訪問散髪
- ☆ 18日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 19日(水) 書初め&新年会
- ☆ 20日(木) 訪問歯科
- ☆ 25日(火) 訪問リハビリ
- ☆ 27日(木) 訪問歯科

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

## ～編集後記～

今年も残すところあとわずかとなりました。私の中での今年の一歩の出来事は、今年初めに新型コロナウイルス感染症で伯父を亡くしたことです。今のようにはワクチン接種が行われる前で、あと少し早くワクチン接種が始まっていれば…等々、考えることはいろいろありますが、この世の中に翻弄されたことに違いないですね。  
来年こそはいろんなことができるとなっています。良い年をお迎えください。  
(\*\*\*)

## ～～第56号～～

令和3年12月25日発行  
発行元 しょうぶの里  
熊本市西区小島9丁目14-58  
TEL (096) 311-4588

